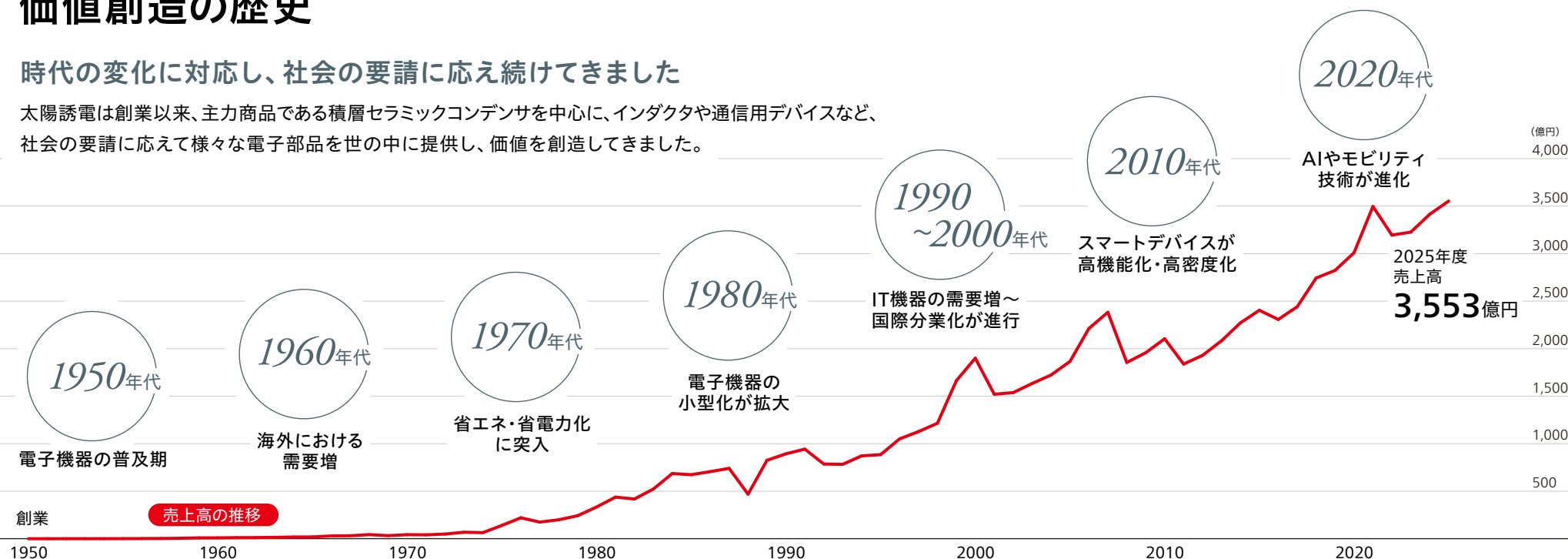


価値創造の歴史

時代の変化に対応し、社会の要請に応え続けてきました

太陽誘電は創業以来、主力商品である積層セラミックコンデンサを中心に、インダクタや通信デバイスなど、社会の要請に応じて様々な電子部品を世の中に提供し、価値を創造してきました。



太陽誘電のあゆみ

1950年9月

チタン酸バリウム磁器コンデンサ「ルチルコン」を商品化



1954年9月

小型フェライトコア「フェリットコア」の生産を開始

1964年9月

技術研究所を設立

1967年5月

台湾・台北市に初の当社現地法人を設立

1970年3月

東京証券取引所市場第二部に上場。
1973年に一部に指定替え

1976年7月

アキシアルリード型磁器コンデンサを世界で初めて商品化

1977年10月

世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発

1984年7月

世界初のニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサを開発

1988年9月

世界初の追記型光記録メディア「CD-R」の商品化を発表

1999-2000年

海外4生産拠点を同時立ち上げ

2001年4月

Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格Ver1.1認証を世界で初めて取得

2010年3月

太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化

2012年5月

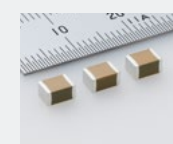
メタル系パワーインダクタ「MCOIL™」を商品化

2018年4月

エルナー株式会社を子会社化

2018年5月

世界初、静電容量1,000μFの積層セラミックコンデンサを開発



4532サイズ
(4.5mm×3.2mm、
1,000μF)

2024年12月

世界初、メタル系パワーインダクタで薄さ0.33mmを実現



積層メタル系パワーインダクタ「MCOIL™ LSCNシリーズ」(1.0mm×0.5mm×0.33mm、0.47μH)

2025年12月

世界初、2012サイズで100μFの基板内蔵対応積層セラミックコンデンサを商品化

